

強く 雄々しく たくましく
清く 明るく 伸びやかに

<校歌から抜粋>

1. < 高等部時代 >

高等部の3年間は青年期に当たり、子どもから大人への入り口となる時期です。中学部（校）時代につき、個人差はありますが、からだの発育はめざましく、大人らしいからだつきになります。こころの面でも自分自身に目を向けるようになり、急に親離れを始めたり、これまでとはちがった価値観を身につけようとしたりすることがあります。からだところ、そして周囲とのかかわり方が変化していく時期がこの3年間です。多くの生徒にとって、高等部が最後の学生生活になると思います。3年後には卒業後の進路を決める大事な時期になります。

2. < 高等部の教育目標 >

- ・生きる力の基礎（健康・生活習慣）を培う。
→日々の生活の中で、自分のこころやからだのことを理解し、健康に生活できる力を育てます。
- ・基礎的な学力、体力を育てる。
→学習や経験を通して、興味や関心を広げるとともに、体力の保持や向上に取り組みます。
- ・日常生活に必要なことをやり遂げようとする意欲と力をつける。
→実際の日常生活に即した場面での学習体験を通じて「生きる力」を伸ばします。
- ・自ら考え、表現する力を育てる。
→豊かな情操を育て、さまざまな方法で自分の思いや願いを表現する力を伸ばします。
- ・互いを認め合い、育ち合う力をつける。
→集団の中で、さまざまな関わり合いを通じて優しさや思いやりの心を育てます。
- ・働く力を育てる。
→将来を見つめ、学校生活の中で自分の能力や個性を伸ばし、働く意欲を育てます。

3. < 交野支援学校四條畷校が指導面で大切にしていること >

①障がいの特性に応じた配慮

- ・安心感をもって、くつろげるスペース作りを心がけます。
- ・生徒が理解できる適切なコミュニケーションでの支援を行います。
- ・指導はスモールステップで、とまどいをより少なくします。
- ・集団行動への参加を促しますが、場面に応じて個別の対応をします。

②健康への配慮

- ・毎日の健康観察や手洗い、歯みがきの励行をします。
- ・体を動かす機会が比較的少ない生徒に運動の機会をつくります。

③気持ちへの配慮

- ・穏やかな雰囲気の中で、自発的に活動できるように教員が適切な言葉かけを行います。
- ・苦手なことも少しずつできるように、生徒の力に応じて、積み上げ、活動していきます。
- ・生徒の興味を引き出して、やりとげる気持ちや達成感を育てます。

④自己選択・自己決定

- ・自己形成期にあたる年代です。自己選択、自己決定をしたり、人間関係を積み重ねたりしながら自己コントロールを覚えて、自己表現の力を十分に伸ばせるように支援をします。
- ・自分で考えるために必要な情報を伝え、判断できる機会や時間を持ちます。
- ・言動、行動（時には表情、様子なども）から本人の意思を汲み取るよう努めます。

4. < 各教科の概要 >

バス着から1時間目まで (自立活動)		朝登校して、バスから降りると、校内服に着替えます。 9時20分までランニング（ウォーキング）をします。その後、各ホームルーム教室へ移動。 ホームルーム教室で、連絡帳を担当に渡し、朝の会で一日の予定を確認します。
国語		読む・聞く・話す・表現する力を身につけることをねらいとした学習をします。
数学		日常生活で使う数字・単位や計算などを学習します。
理科・社会		身の回りの自然や住んでいる地域の学習。地理・歴史や生活の学習をします。
家庭科		ひも結び、針やハサミを使った作品作り、食物の学習などをします。
音楽		歌やリトミック等を楽しみ、また楽器を使ってハーモニーを奏でます。
美術		創作活動（ものづくり）を楽しむことを一番の目的としています。
保健体育		スポーツテスト、プール、体育祭練習、球技、持久走、レクリエーションゲーム等。
職業	軽作業	卒業後に向けて、挨拶、言葉遣いの練習、校内清掃、プチボトルのちぎり点検等。
	木工	安全に留意して、機械や工具を利用し、作品製作を楽しみます。
	園芸	一年を通じ、屋外中心の作業をすることで、暑さ、寒さに負けない意識と体力を養います。 野菜や草花などの生き物を扱うことで、責任を持って育て、収穫の喜びを味わいます。
	縫製	スウェーデン刺繍、手縫い、ミシン縫いで作品を作ります。
	窯業	粘土でいろいろな器を製作します。 ろくろやたた板等で成形し、絵付けや釉薬がけにも取り組みます。
総合的な学習の時間		情報、美術、ライフスポーツ、フィットネス、ものづくり、英語、茶道、手芸、音楽、ウォーキングから1科目を選択し、受講します。
給食指導 (自立活動)		3・4時間目が終わるとHR教室で給食を食べます。
HR (道徳・特別活動)		役割分担決め、生徒会活動、行事での事前・事後学習、レクリエーション活動等。
授業終了から 下校まで (自立活動)		授業が終わるとクラスに戻り、下校準備をしてから帰りの会をします。

5. < 高等部の特色 >

・選択教科

2、3年生を対象とし、卒業後の就労支援・生活支援を目的に、自立をめざし、卒業後の職業生活および家庭生活に必要な力を高め、実践的な態度を育てるために、本人の意欲と適性を考慮して複数の教科から選択して学習します。

・職業コース(クリーンコース:週8時間)

2、3年生を対象とし、職業自立を目指して校内外の実習を行います。
社会生活に必要な知識や、ルール・マナー等に関する座学に取り組みます。



・総合的な学習の時間

全学年を対象に、クラスや学年を離れ、自分の興味・関心のあるグループに分かれて体験的、作業的な学習を中心に取り組みます。

・体験実習

学校や家庭で学んできた力、習得してきた力を実社会で試すために、早い時期から企業や施設での体験実習を行います。